
第3章

基本方針の体系と取組

1 基本方針の体系

前述の8つの基本方針に沿って、様々な関係機関が協働により推進していく具体的な取組は以下に示すとおりです。

■基本方針1 人材育成や地域資源の磨き上げと掘り起こしを進める

取組の柱	具体的な取組	主な対象
(1)市民が地域を学ぶ機会の充実	①市民の学びの機会の充実	市
	②子どもの学びの機会の充実	市
	③次世代リーダー養成	市
(2)市民の自発的な活動を通じた観光人材の育成	①市民の文化活動の活発化	市
	②報徳の教えと生涯学習を活用した観光人材の育成	市
(3)まちづくり団体の活動の活発化	①地区まちづくり協議会の活動の活発化	市
	②市民団体の活動の活発化	市
(4)地域資源の掘り起こし・磨き上げ	①花の名所づくり	市・来・イ
	②海や山のアクティビティの推進	市・来・イ
	③地域ぐるみで地域資源の掘り起こしと魅力の向上	来・イ・事
	④自然体験施設や団体の充実	市・来・イ
	⑤温泉施設を活用した周遊コースの設定	市・来・イ
	⑥地域独自ブランドの確立、伝統工芸品や地域特産品の消費拡大	来・イ・事
(5)旅行会社への企画提案	①旅行会社への企画提案活動	事
(6)マーケティング調査	①掛川への観光客のマーケティング調査	来・イ・事

■基本方針2 観光客を惹きつける体験交流型ツーリズムと食を充実させる

取組の柱	具体的な取組	主な対象
(1)体験交流プログラムの充実	①製造業等の体験交流プログラムの充実	市・来・イ
	②文化体験交流プログラムの充実	市・来・イ
	③スポーツ体験(交流)プログラムの充実	市・来・イ
	④自然観察会や星の鑑賞会の実施	市・来・イ
	⑤自転車愛好者向けのイベントやコースの充実	市・来・イ
	⑥生涯学習と報徳文化の継承と活用	市・来・イ
(2)食の体験の充実	①地元で愛されている飲食店の魅力向上	市・来・イ・事
	②地元グルメの普及と情報コミュニケーション力の活性化	市・来・イ・事
	③駅北中心市街地×食のイベントの推進	市・来・イ・事
	④農産物直売所の振興	市・来・イ・事
(3)農業体験の充実	①農林業体験交流プログラムの充実	市・来・イ
	②農泊の推進	来・イ・事
	③若い人が暮らす・学ぶ・働くを体験できる機会の検討	市・来・イ
	④観光農園の推進	市・来・イ・事

■基本方針3 掛川茶に見て触れて味わえる場を充実させる

取組の柱	具体的な取組	主な対象
(1)世界農業遺産 「静岡の茶草場農法」 の活用	①粟ヶ岳で“世界農業遺産のまち掛川”を感じる体験の充実	市・来・イ
	②茶草場周辺の景観の保全	市・来・イ
	③世界農業遺産関連団体との連携	来・イ
	④茶草場農法の推進	市・事
(2)掛川茶でもてなす場 の充実	①おいしい掛川茶が飲める場所の充実	市・来・イ・事
	②飲食店や宿泊施設での掛川茶のもてなしの推進	市・来・イ・事
	③掛川スタディを活かしたヘルスツーリズムの開発	市・来・イ・事
	④駅などの拠点で“茶のまち掛川”を感じる演出	市・来・イ
(3)市民にも愛される 掛川茶の名物づくり	①掛川茶を使った名産品の磨き上げ	来・イ
	②掛川茶にまつわる名物料理の発掘・開発	来・イ
	③茶文化プロジェクトによる他都市との連携	来・イ
(4)掛川茶をテーマに したイベントや運動の 推進	①広域から人を惹きつける掛川茶イベントの充実	市・来・イ・事
	②緑茶で乾杯する新たな文化の醸成	市・来・イ・事
	③将来の“掛川茶ファン”を育てる取組の推進	市・来・イ・事

■基本方針4 歴史あるまち掛川の強みを活かす

取組の柱	具体的な取組	主な対象
(1)お城及び周辺の環 境・景観の整備	①掛川城下地区の環境・景観の整備	市・来・イ
	②高天神城の環境・景観の整備	市・来・イ
	③横須賀城の環境・景観の整備	市・来・イ
(2)街道の環境・景観の 保全・整備	①遠州横須賀街道の環境・景観の保全・整備	市・来・イ
	②街道の環境・景観の保全・整備	市・来・イ
(3)歴史資源の活用	①歴史を活かしたテーマ別観光周遊ルートづくり	市・来・イ
	②イベントによる来城のきっかけづくり	市・来
	③誰もが観光ガイドになれる歴史の学習機会の充実	市・来
	④城の魅力をイメージで伝える工夫	市・来
	⑤掛川城御殿の迎賓館としての活用検討	市・来
(4)郷土芸能・伝統行事 の伝承	①郷土芸能・伝統行事の保存と公開	市
	②祭りの担い手に観光客が参加できる仕組みの検討	来・イ
(5)シティミュージアム 掛川構想 (p136 参照) の推進	①シティミュージアム掛川構想の推進	市・来・イ・事

※「主な対象」は、取組によって満足度を高める主な対象のことで、「市」は市民、「来」は来訪者、「イ」はインバウンド(海外から訪れる方)、「事」は市内の事業者を指しています。

■基本方針5 海外から訪れる方の興味を惹きつける

取組の柱	具体的な取組	主な対象
(1)海外から訪れる方に向けた地域の魅力発信	①ラグビーワールドカップ等を契機とした情報発信	イ
	②モニターツアーの実施	イ
	③海外の方の興味を惹きつける取組の実施	イ
(2)多言語対応の改善・強化	①各種案内の多言語表記への改善	イ
	②先端技術の活用による観光の支援	イ
	③外国語によるもてなしの推進	イ
	④国際交流・国際相互理解の推進	イ

■基本方針6 掛川に行きやすい、周りやすい環境を整える

取組の柱	具体的な取組	主な対象
(1)広域交通の利便性の向上	①富士山静岡空港からのアクセスの確保	来・イ
	②広域道路の整備	来・イ
(2)地域間の交通利便性や周遊性の向上	①地域間道路の整備	市・来・イ
	②公共交通によるネットワークの強化	市・来・イ
	③サイクリング環境の向上	市・来・イ
	④交通結節点のバリアフリー化	市・来・イ
(3)観光施設、案内サインの整備・改修	①観光施設の整備・改修	市・来・イ
	②公的な案内サインの整備・改修	市・来・イ
	③民間の屋外広告物の誘導	市・来・イ
(4)周遊を促すコースとサービスの提供	①掛川駅を起点とする市内周遊コースの充実	市・来・イ
	②周遊サービスの推進	市・来・イ
	③情報インフラ等の整備	市・来・イ

■基本方針7 観光情報のコミュニケーション力を活性化

取組の柱	具体的な取組	主な対象
(1)メディアを活用した情報の効果的な活用	①メディアミックスによる効果的な情報活用	市・来・イ
	②見やすく充実したホームページへの改善	市・来・イ
	③SNSによる情報コミュニケーション力の活性化	市・来・イ
	④ふるさと納税制度を活用した魅力向上	来
	⑤掛川ゆかりの著名人を通じたプロモーションの推進	来・イ
	⑥フィルムコミッション活動(p137参照)の推進による地域資源の魅力向上	来
(2)観光案内できる場所の充実	①駅などの拠点における観光案内サービスの充実	市・来・イ
	②観光案内できる場所の充実	市・来・イ

■基本方針8 観光と地域産業の連携強化と推進体制を整える

取組の柱	具体的な取組	主な対象
(1)市内連携の強化	①各種事業者・団体の連携強化と情報誌等による魅力向上	来・イ
	②観光客の安心・安全の確保	来・イ
	③市庁内の連携強化	市・来・イ・事
	④観光協会の組織力の強化	市・来・イ・事
(2)広域連携の強化	①広域連携による観光商品づくり	来・イ・事
	②DMOの研究	来・イ・事

※「主な対象」は、取組によって満足度を高める主な対象のことで、「市」は市民、「来」は来訪者、「イ」はインバウンド(海外から訪れる方)、「事」は市内の事業者を指しています。

2 具体的な取組

前述の体系に基づく具体的な取組は以下に示すとおりです。

基本方針1 人材育成や地域資源の磨き上げと掘り起こしを進める

取組の柱(1) 市民が地域を学ぶ機会の充実

具体的な取組① 市民の学びの機会の充実 **重点**

- ・ これまでの報徳の教えと生涯学習のまちづくりについて、「かけがわ未来づくり会議」(p135 参照)などにおいて学びの機会を充実し、地域に誇りを持つ市民を増やしていきます。
- ・ 市が管理・工事中の現場を見学する「インフラツーリズム」(p135 参照)を企画し、市民への理解を深めます。

例) 原野谷ダムや西大谷ダム、歴史的・特徴的なトンネル、施工中の工事現場など

具体的な取組② 子どもの学びの機会の充実 **重点**

- ・ 地域に誇りの持てる子どもを増やし、定住促進につなげていくため、まちの未来を担う子どもたちを対象に、学校の郷土学習や総合的な学習の時間を活用して、掛川のまちづくりの歴史を知る機会を創ります。
- ・ 子どもの先生となる市民を育てるため、「かけがわ未来づくり会議」など、地域の歴史や産業などについて体験を通じて楽しく学べる、大人を対象にした学びの機会を充実していきます。

例) 「市民先生ナビ」(p136 参照)を活用した地域学習や自然遊びや地場産業体験の推進、「掛川塾」(p135 参照)の取組の普及

具体的な取組③ 次世代リーダー養成

- ・ 市民があらゆる機会において学習するとともに、まちづくりに参画し、様々な学習機会の充実を図り、協働の担い手づくりを進めます。これは、市民がこれまで以上に掛川市を知ることで、郷土愛の醸成を図っていくことを目指したものです。
- ・ 総務省の地域おこし協力隊制度の活用や当市への移住者などの応援により、外から見た掛川市の魅力を地域のブランドや特産品開発に結びつけ、地域産業を観光に活かす人材育成を進めます。

取組の柱(2) 市民の自発的な活動を通じた観光人材の育成

具体的な取組① 市民の文化活動の活発化

- ・ 市民が心豊かに充実した生活を送るために、掛川ならではの文化・芸術活動に積極的に参加できる機会を充実します。

- ・「文化芸術活動サポートセンター」の創設など、市民の文化活動を活発化するための環境や支援体制を構築します。
- ・ボランティアサポーターの登録制度など、地域ぐるみで文化施設の利用促進やアートイベントの活性化を図るとともに、ボランティア活動のモチベーションを維持向上する取組を進めます。
- ・特に若者を巻き込んだ観光振興を進めていくため、趣ある街並みと現代アートを融合させた取組の推進、SNS を活用したコミュニティづくりなど、若者の感性に訴え、誇りに思えるようなクリエイティブなまちづくりを進めます。

具体的な取組② 報徳の教えと生涯学習を活用した観光人材の育成 **重点**

- ・地域学習や文化活動、市民大学での学びを通して、より興味を持った市民を対象に、観光のガイドや各種体験の先生、達人となる人材の育成を目的として、より深い知識や技術を取得するための機会の創出を図ります。
- ・産学官の連携による教育プログラムづくり、民間人材の活用などにより、お茶や自転車などの地域資源に関する専門性を備えた人材を育成します。
- ・観光ボランティアガイドを対象とした研修の実施、観光先進都市への視察研修などによるスキルアップを図り、ボランティアガイドの育成を図ります。ガイドのスキル向上に伴い、有償によるガイドの実施も進めていきます。また、通訳案内士法改正を受け、研修の実施などにより、外国語にも対応したボランティアガイドの育成を図ります。
- ・掛川が報徳の教えと生涯学習による市民総ぐるみで成長してきたまちということを伝えられるスキルを身につける機会を検討していきます。

取組の柱(3) まちづくり団体の活動の活発化

具体的な取組① 地区まちづくり協議会の活動の活発化

- ・地区まちづくり協議会が主体となった、「倉真ハイキングコースの作成・整備」、「普門寺三十三観音看板整備」、景観マップ作成など、それぞれの地区の特色を活かした地域資源の磨き上げや掘り起こしを推進し、観光振興につなげていきます。

具体的な取組② 市民団体の活動の活発化

- ・「原泉アートプロジェクト」(p136 参照)、「中村砦城山保存会」、「地元の高校生によるプロジェクションマッピング」(p137 参照)など、市民活動団体に対する事業や資金の支援、同じテーマを持つ市民や団体とのつなぎ合わせを推進し、観光振興にもつながる市民活動を活発化します。
- ・主体的に活動を行っている子育てママの団体やネットワークを活用し、SNS による情報発信など、市民を巻き込んだ観光振興を進めます。



掛川城を音楽と光の映像で彩る
プロジェクションマッピング

取組の柱(4) 地域資源の掘り起こし・磨き上げ

具体的な取組① 花の名所づくり **重点**

- ・ 桜の品種を、掛川地域は「掛川桜」、大東地域は「ソメイヨシノ」、大須賀地域は「御衣黄」というように、地域によって変えることで、長期間にわたり楽しめるように推進していきます。特に、粟ヶ岳や大浜公園などは、桜の鑑賞を目的とした来訪者が非常に多いため、老朽化した桜の植え替えなどを施し、今後も永続的に桜の名所としての存在を維持していきます。
- ・ 花見に訪れる方をターゲットに、地元食材を使って開発した弁当と地酒を販売し、地域の食文化を知っていただくきっかけとなるよう進めます。
- ・ ゆり、ハルリンドウ、紅葉や、そよかぜ広場のひまわり、^{みそがわ}三十川のコスモス街道、家代の花桃の里など季節に応じた花木は、遠方からの来訪者も多いため、観光地となるよう情報の受発信を進めます。

具体的な取組② 海や山のアクティビティの推進 **重点**

- ・ 海岸部では、ビーチバレーやSUP(スタンドアップパドルボード) (p135 参照)などの全国大会の誘致や協力などマリンスポーツの拡充、山間部ではトレッキングやトレイルランなどのメッカとなるよう検討していきます。
- ・ 温泉が併設されている、あるいは日本一静かなキャンプ場といった個性を活かし、ターゲットを絞ったキャンプ場など、広い市域の特性を活かしてキャンプ場の整備・活用・情報の受発信を進めていきます。
- ・ 南部の海岸防潮堤の設置後には、サイクリングロード、朝日・夕日の景観スポットなどの設置により、サイクルスポーツの聖地化として市民や近隣の観光客が憩う場として整備を計画していきます。



SUP の大会

具体的な取組③ 地域ぐるみで地域資源の掘り起こしと魅力の向上 **重点**

- ・ 地域住民が自分の地域資源を知り、それぞれの地域の特色を活かした地域資源の掘り起こしや磨き上げを行います。
- ・ 掛川らしさを感じる自然や歴史・文化の景観は、一度失うと復元が難しい地域資源であるため、市民や事業者の景観保全への意識を高めるとともに、景観に配慮した開発行為や建築行為を誘導していきます。
- ・ SNS 全盛の今、観光ニーズの移り変わりは非常に早く、予期せぬスポットが脚光を浴びる事があります。常に観光トレンドを調査し、時代に即したスポットを本市ならではの地域資源として魅力の向上を図ります。現在、反響の大きな永福寺の天井画「輪廻成長の龍」の見学に訪れる観光客が、地域に長く滞在し、満足していただけるような休憩スポット施設の設置等も検討していきます。

- ・ 関係団体や企業、地元の高校生、郷土史家などが一緒になり、現地のフィールドワーク等により、お城周辺観光マップを作成して、お城をキーとした地域の歴史スポットやストーリー、食の魅力を掘り起こします。

例) サイクリストに馴染みのある原谷の田園滑走路、掛川桜のライトアップ、工事中の現場を見学するインフラツーリズムなど、思わず写真を撮りたくなる絶景スポットなど

具体的な取組④ 自然体験施設や団体の充実 **重点**

- ・ 都市圏在住者は私たちの日常的な生活や田舎暮らしの体験に感動を覚え、地域文化や地元グルメに興味を惹かれます。特に「NPO法人 時ノ寿の森クラブ」(p135 参照)は、自然共生型の暮らしを体験できる環境を整えており、学校、サークル、子ども会など多くの方が楽しまれています。このような自然体験施設・団体を増やし、掛川の地域文化を知っていただく機会を増やします。
- ・ 団体や地域との交流により、地域文化を気に入ってくれた方が、陶芸やアート作品の工房兼住居として地域へ移住し、仲間が増えていくことでアート村になっていくようなきっかけ作りを進めていきます。

具体的な取組⑤ 温泉施設を活用した周遊コースの設定 **重点**

- ・ 本市には、倉真温泉をはじめ温泉施設が数多く存在しているため、文化・食・自然体験を絡めた周遊コースを設定し、他分野への波及効果を図ります。
なお、新東名高速道路にスマートインターができた際には、カーシェアリングや自動運転バスなどにより、地域を周遊できる仕組み作りを研究します。

具体的な取組⑥ 地域独自ブランドの確立、伝統工芸品や地域特産品の消費拡大

- ・ 日本三大古布の葛布など、希少性の高い代表的な伝統工芸品などについて、地域独自ブランドとして確立し、消費拡大につなげます。
- ・ 葛の魅力や利用法などを調査、研究する「葛利活用委員会」の取組を進めます。



葛布製品

取組の柱(5) 旅行会社への企画提案

具体的な取組① 旅行会社への企画提案活動 **重点**

- ・ 掛川市への観光ツアーは待っていても新たに企画造成される事は難しいことから、三大都市圏を中心に、旅行会社へ直接訪問し、定番の地域資源だけでなく、季節とトレンドやニーズに合った体験企画など旬な地域資源の提案営業活動を進めます。

取組の柱(6) マーケティング調査

具体的な取組① 掛川への観光客のマーケティング調査

- ・ 掛川市へ実際に訪れていただいている人へのマーケティング調査を実施し、観光客の実態やニーズ、掛川市に求めているものや掛川に足りないものなどを把握します。
- ・ 調査結果を今後の観光施策の企画立案における基礎資料とすることで、本市への新たな来訪動機を増やしていくとともに、必要に応じて方向転換を図っていきます。

例) 市内の宿泊施設や観光施設におけるアンケートキャンペーンの実施、
ナンバープレート調査、観光アプリを活用した観光客の行動データの収集・分析

基本方針2 観光客を惹きつける体験交流型ツーリズムと食を充実させる

取組の柱(1) 体験交流プログラムの充実

具体的な取組① 製造業等の体験交流プログラムの充実

- ・「資生堂」や「ヤマハ」の資料館や工場の見学、酒蔵や醤油の醸造所など地場産品に関する工場見学などを継続するとともに、周知を図ります。
- ・多くの企業での工場見学や商品の直売などの実施を推進するとともに、「観る」だけでなく、「触れる、つくる」といったより楽しい体験を伴うプログラムの開発を図ります。

具体的な取組② 文化体験交流プログラムの充実

- ・「掛川城」や「横須賀街道」、「大日本報徳社」、まちなかのアートなどのガイドツーリズム「掛川交流型ツーリズム」(p135 参照)を継続して実施します。
- ・今後も多彩な人材や市民団体などと連携して、伝統文化などを楽しみ、ふれあいながら体験することのできるプログラムを開発していきます。

例)「戦国期・掛川城攻略の史跡めぐり」、「報徳・こころの旅」、「アートのまちめぐり」など

具体的な取組③ スポーツ体験(交流)プログラムの充実

- ・掛川市の地域資源である海岸や砂浜を活かしたマリンスポーツをはじめ、大東ビーチスポーツ公園など砂地の魅力を活用した体験プログラムを検討していきます。
- ・つま恋リゾート彩の郷などとの連携により、スポーツイベントの参加者が応援の家族とともに、掛川市内の観光を楽しめることができるよう各種体験プログラムとの連携を図ります。

具体的な取組④ 自然観察会や星の鑑賞会の実施 **重点**

- ・自然資源の多い掛川市の特性を活かし、茶草場周辺の花やホタル、星の鑑賞会などを継続実施し、市内外からの来訪者に貴重な体験ができる環境を維持していきます。例えば、彗星発見の丘のような地域資源と体験プログラムを組み合わせることで多くの方が集まる可能性が高くなり、このような場所を星空カフェのような拠点としていくことなどを検討します。
- ・自然豊かな市内には希少な動植物がたくさん存在しています。地域や自然保護団体等と連携し、希少な動植物を開発や違法採取などから保全します。そのためにも自然保護の必要性を伝えると共に、自然を五感で感じる体験ツアーの造成を促していきます。

具体的な取組⑤ 自転車愛好者向けのイベントやコースの充実 **重点**

- ・ 中距離を移動できる自転車は、風を感じながら移り変わる景色を楽しめるため、掛川市の地域資源を知るには重要な交通手段といえます。既存のサイクルイベントを拡充し、ガイドサイクリストによる紹介を交えながら地域資源の魅力を伝えていきます。
- ・ サイクリストを対象に、地域の名物グルメ店やスイーツ店を廻る事ができるグルメコースを設定し、走るだけではない楽しさを提供する環境を整えます。

具体的な取組⑥ 生涯学習と報徳文化の継承と活用 **重点**

- ・ 報徳の教えの解説書「心のスイッチ」などを活用した生涯学習と報徳文化のガイドツアーなどを実施し、報徳の教えを誘客資源とした取組を進め、将来の大河ドラマ化を目指していきます。
- ・ 企業研修、海外視察、修学旅行などあらゆる機会では報徳の教えに触れる機会を設け、全国、全世界から報徳社に人を呼び込むプログラムの実施を検討します。
- ・ 周恩来元首相と松本亀次郎先生のろう人形寄贈を契機に、「日中友好の架け橋拠点」となるよう、生涯学習や報徳を通じて交流人口の拡大を進めます。
- ・ 全国の観光会社などが惹かれる講演会を大日本報徳社で継続開催し、旅行商品化につながる取組を進めます。

取組の柱(2) 食の体験の充実

具体的な取組① 地元で愛されている飲食店の魅力向上

- ・ 地元の人が気に入っているその土地ならではの飲食店を訪れてみたいという観光客のニーズがあることから、旅行会社のツアーに、掛川の食文化も組み入れていただくようPRするとともに、観光スポット訪問やプログラム体験前後に本市で食事をしていただくように、飲食店の魅力を高めていきます。
- ・ 古い建物を改装したカフェや、アンティーク雑貨と融合させたカフェなどテーマ性の高い魅力的な飲食店も増えており、遠方からの来訪者も惹きつけるよう、情報コミュニケーション力を活性化します。
- ・ 掛川発祥「互産互消」の魅力が高まるよう経営を促し、商業振興を図ります。

具体的な取組② 地元グルメの普及と情報コミュニケーション力の活性化 **重点**

- ・ 地元の自然薯や落花生を使った料理、掛川牛など、郷土食や地場の旬のものを使った料理を後世につなぐと共に、個性ある地元グルメとして育てていくために、飲食店への普及や情報のコミュニケーション力を活性化します。
- ・ お茶やほうじ茶、地元の果物を使ったクラフトビールなど新たな地元グルメを発掘、情報の拡散を行い、地域の活性化を図ります。

- ・ 飲食店で、三城の歴史になぞらえた料理やスイーツを提供することで、その店舗に歴史ファンが集まり、同じ趣味を持つ者同士のコミュニケーションスポットとして成長していくように提案していきます。
- ・ 市内を周遊しながら、地元の飲食店を利用してもらえるよう、市民が好んでおすすめする店舗や観光スポット、周遊コースをわかりやすく紹介する、多言語対応のガイドマップやアプリを充実します。

具体的な取組③ 駅北中心市街地×食のイベントの推進 **重点**

- ・ 「けっトラ市」、「掛川商工まつり」、「掛川クラフトビールフェスタ」など、駅北中心市街地の商店街を活用した集客イベントについて、これまでの取組の成果や課題を踏まえ、既存のイベントをさらに集客できるよう創意工夫し、年間を通じた掛川の個性あるプロモーションイベントが増えるように推進していきます。
- ・ 市内就業者やビジネス客を対象とし、お酒が飲める飲食店が多い掛川の特性を活かし「お酒のまち 掛川」の情報コミュニケーション力を活性化し、商工会議所青年部や商店街と協力したアフター5の夜活イベントの開催を検討します。また、賑わいが増えることで、お酒が飲める飲食店の人口割合日本一を目指します。



けっトラ市

具体的な取組④ 農産物直売所の振興

- ・ 「道の駅掛川」や「サンサンファーム」など、農産物直売所は地元の食生活を見ることができ、お土産を購入できることから、観光客にとっても魅力的なスポットです。今後も生産出荷者の確保に努めていくとともに直売所の魅力を伝えていきます。
- ・ 農産物直売所には市内外から多くのお客様が訪れることから、近年の健康志向を踏まえた情報コミュニケーション力を活性化し、観光産業に結びつけていきます。



「道の駅掛川」の特産物直売所

取組の柱(3) 農業体験の充実

具体的な取組① 農林業体験交流プログラムの充実 **重点**

- ・ 掛川茶、掛川牛、石川小芋、いちじくなど掛川の個性ある農畜産物や加工品、林産物や林業を地域資源として観光につなげていきます。
- ・ 農産物であれば種蒔き～収穫までの体験・交流プログラムとして確立するなど農業と観光の結びつけを進めていきます。
- ・ 茶摘みや湯飲みづくりから始まる喫茶体験など、食に関わるものづくりを手間暇かけて楽しむフードツーリズムを展開します。
- ・ 地元で採れた農産物を販売する直売所において調理・提供し、ここでしか食べられない地元グルメとして希少性を高めて、観光客を惹きつけます。

具体的な取組② 農泊の推進 **重点**

- ・ 農村地域に滞在し、この地ならではの生活体験と人々との交流を楽しむ農泊を推進するため、既に農泊を実践している NPO 法人時ノ寿の森クラブや、新たな農泊事業者への空き家情報や国県の補助事業など、必要な情報提供などを実施していきます。
- ・ 既に実施している施設について、田舎暮らしへの需要が多い三大都市圏を始め国内外から注目される地域づくりを進めていきます。
- ・ 住民に農泊(農村体験民泊)への登録を呼びかけ、住居の安全性の点検や講習を通じた体験プログラムの確認などにより、受入れ農家を育成します。

具体的な取組③ 若い人が暮らす・学ぶ・働くを体験できる機会の検討 **重点**

- ・ 農業に関心がある方や掛川の暮らしを体験してみたい方と、農繁期の手助けを必要としている農家を結びつける、ワーキングホリデーの実施を検討します。
- ・ 近年の修学旅行のニーズに合わせ、茶の収穫や急須でのお茶の入れ方、地元料理の作り方といった体験学習を提案するなど、都会からの修学旅行の受け入れを検討します。

具体的な取組④ 観光農園の推進

- ・ いちご、キウイ、さつまいも、ぶどう、梨、干しいもづくりなど、収穫体験ができる観光農園は人気のスポットであるため、年間を通じて収穫体験できる農園や新たな農産物の収穫体験ができる農園整備を検討し、フルーツカフェやテーマパークが形成される果物等の一大産地づくりを進めます。
- ・ 農産物の育成・収穫体験だけでなく、自然薯のような地場産品や、クラインガルテンと呼ばれる市民農園の推進も行っていきます。
- ・ 現在、産地化の研究を進めている「オリーブ」について、当市の新たな農産物としてだけでなく、オリーブに触れる観光農園やオリーブ畑の中のレストランなどにより、名所づくりを推進していきます。

基本方針3 掛川茶に見て触れて味わえる場を充実させる

取組の柱(1) 世界農業遺産「静岡の茶草場農法」の活用

具体的な取組① 粟ヶ岳で“世界農業遺産のまち掛川”を感じる体験の充実 **重点**

- ・ 掛川茶に触れる観光の拠点として「粟ヶ岳世界農業遺産茶草場テラス」を整備し、駐車場や休憩スペース、眺望スポットの確保、茶草場農法の紹介、深蒸し掛川茶の提供を推進します。
- ・ 粟ヶ岳は、カモシカやササユリなど多様な動植物が生息しており、ハイキングの途中でも動物に遭遇することが多々あり、思わぬ出会いに感動します。この豊かな自然環境を活かしたハイキングガイドツアーを実施し、自然豊かな地域環境の魅力を伝えていきます。
- ・ 粟ヶ岳で食べられる「のら弁」など、掛川ならではの地元グルメの磨き上げと掘り起こしにより、地域の食文化を感じられる取組を進めます。
- ・ シンボリックな茶文字のある粟ヶ岳において、ハイキングやサイクリングのコースの整備、ビューポイントの活用、市民参加による桜の管理などにより、自然に癒される場所として、より多くの人を惹きつける魅力を高めます。
- ・ 粟ヶ岳は、道路が狭いこともあり、健康づくりや景観を五感で感じる目的で、歩いて登ることを推奨していきます。これまでも繰り返し歩いて登ることで健康になったという方が多く、粟ヶ岳を活用した深蒸し茶とハイキングの組み合わせにより、世界一の長寿立志を目指します。



茶園の中のハイキング

具体的な取組② 茶草場周辺の景観の保全

- ・ 茶草場の景観をより良くするため、電柱の移設や防霜ファンの色彩調和、ガードレールの改善など図ります。
- ・ 茶草場の価値をより高め、その背景を知らせていくとともに、その保護を強化するために、地域の人々の生活や生業、風土によって形成された景勝地として、文化財保護法の重要文化的景観(p136 参照)の選定を目指します。

具体的な取組③ 世界農業遺産関連団体との連携

- ・ 農法実践者、世界農業遺産「静岡の茶草場農法」推進協議会(静岡県、掛川市、ほか認定地域3市1町)及び様々な機関が連携し、世界農業遺産の認知度向上を図ります。

具体的な取組④ 茶草場農法の推進

- ・ 世界的にその価値が認められた「静岡の茶草場農法」を、維持・発展させるための実践者支援に努めます。

取組の柱(2) 掛川茶でもてなす場の充実

具体的な取組① おいしい掛川茶が飲める場所の充実 **重点**

- ・「掛川茶マイスター」(p135 参照)及び「おいしい掛川茶が飲める店」の認定制度を推進し、本物の掛川茶が飲める機会を増やします。あわせて、該当店マップ作成、スタンプラリー、縁側カフェ等を実施することにより、掛川茶が飲める店を広報するとともに、その件数の増加に努めます。
- ・民間企業や大学、料理研究家などとの協力により、作り手と消費者のコミュニケーションの場、ライフスタイルに合ったお茶の味わい方を提案する空間、お茶の魅力を伝える空間として、掛川茶が飲める店の魅力を高め、「お茶のまち掛川」「深蒸し掛川茶」を体感できる機会の増加を図ります。
- ・魅力的なお茶菓子やお茶請けの提供、窓からの美しい風景の確保などにより、その店で喫茶する価値を高めるように努めます。
- ・掛川城御殿の「月夜の煎茶会」、二の丸茶室の「夜の茶会」など、まちなかの歴史的建造物で非日常の時間を提供する取組を充実し、周辺環境を活かして少し特別な気分でもてなす機会をつくり出します。



二の丸茶室の夜の茶会

具体的な取組② 飲食店や宿泊施設での掛川茶のもてなしの推進 **重点**

- ・レストラン及び居酒屋での飲食時、宿泊施設でのチェックイン時などにおいて、掛川茶の種類を来訪者が選べるようにするなど、来訪者の好みに応えたとともに、掛川茶の提供、販売を積極的に行い、お茶の文化と効果を学ぶ機会を提供し、掛川茶について理解を深めてもらうサービスに努めます。
- ・宿泊施設に「掛川茶マイスター」を配置するなど、おいしい掛川茶が飲める宿泊施設を増やし、まちのイメージアップにつなげます。
- ・掛川茶の紹介を記載したナプキンやコースターなどオリジナル商品の企画・デザインを研究し、掛川茶の普及に努め、消費拡大につなげていきます。

具体的な取組③ 掛川スタディを活かしたヘルスツーリズムの開発

- ・健康志向が高まっていることから、緑茶の生活習慣病予防研究「掛川スタディ」で得られた成果を活かし、関係機関と連携しながら、緑茶による健康増進の方法を学習・体験し、自身の生活を改善・向上することができるプログラムを開発します。
- ・健康への効果だけでなく、五感に訴えるよう、ウェブサイトやリーフレットなどのデザインやプログラムを実施する空間の魅力を高めます。

具体的な取組④ 駅などの拠点で“茶のまち掛川”を感じる演出 **重点**

- ・ 掛川駅周辺や観光案内所において、お茶を焙じる機械や喫茶コーナーを設置するなど、良いお茶の香りと掛川らしいおもてなしの心を伝えます。
- ・ 掛川駅周辺の飲食店で、掛川を全面に打ち出した料理やスイーツを提供し、周遊した疲れが癒やされる取組を推進します。また、これらの店舗に特化したマップを作成するなど、お茶のまち掛川を感じる取組を進めます。

取組の柱(3) 市民にも愛される掛川茶の名物づくり

具体的な取組① 掛川茶を使った名産品の磨き上げ

- ・ 徳川家康と山内一豊のエピソードにちなんで、「掛川茶わらびもち」(p135 参照)が共同で創作され、複数の店舗で製造・販売されています。こうした掛川茶を使った名産品の磨き上げを行います。
- ・ 「掛川スタディ」で得られた成果を活かし、健康増進につながる新たな商品の開発を図ります。



掛川茶わらび餅

具体的な取組② 掛川茶にまつわる名物料理の発掘・開発 **重点**

- ・ 掛川茶を使った料理を創作し、掛川の名物やお土産品としていくため、掛川茶を使ったスイーツやご当地グルメのコンテストや、飲食店との共同による勉強会の開催などを行います。
- ・ お茶文化の創造や話題づくりによって、観光と掛川茶や商業の振興につなげていくため、飲食店を対象にした緑茶に合う創作料理のコンテストの開催などを行います。



かけがわお茶レシピグランプリの最優秀賞

具体的な取組③ 茶文化プロジェクトによる他都市との連携

- ・ 緑茶文化の継承と更なる普及を目指し、4市の最高の技(仙北市:樺細工、奥州市:南部鉄器、多治見市:美濃焼)を結集した商品開発、販売及び情報発信を行い、深蒸し掛川茶の認知度向上及び緑茶文化の浸透を図ります。

取組の柱(4) 掛川茶をテーマにしたイベントや運動の推進

具体的な取組① 広域から人を惹きつける掛川茶イベントの充実

重点

- ・ 芸術とお茶をテーマとしたイベント「かけがわ茶エンナーレ」は、ボランティアサポーターの活用など、今後も改善を加えつつ継続開催し、遠方の人や若い人を掛川に惹きつけるきっかけとしていきます。
- ・ 満月の夜に行う「月夜の茶摘み会」や朝にスポットを当てたイベントの検討など、宿泊して体験してみたいイベントを充実します。
- ・ 茶菓子と深蒸し掛川茶を組み合わせたイベントなど開催し、茶業や観光の振興、市民参加の機会の創出などを図ります。
- ・ 急須で淹れたお茶を飲む生活に触れてもらうイベント、主要な観光施設での呈茶など、お茶を淹れる手間を魅力的な時間に変えるきっかけを作ります。



かけがわ茶エンナーレ

具体的な取組② 緑茶で乾杯する新たな文化の醸成

- ・ お祝いの席や人々が集う場で、緑茶や、焼酎の緑茶割り等で乾杯する新たな文化を醸成することで、新たな緑茶の価値と飲み方を創出し、緑茶の消費拡大と国内外への情報発信を図るための「掛川市緑茶で乾杯条例」を活用し、市民、茶業関係者及び市の協働による運動を推進します。
- ・ 会社での来客対応、自治会の行事、市役所での会議など、人が集まる機会においてできるだけ急須のお茶を提供し、お茶を通じたコミュニケーションの活性化、掛川茶の香りや色を楽しむ機会の増加を図ります。

具体的な取組③ 将来の”掛川茶ファン“を育てる取組の推進

重点

- ・ 子どもを対象にした茶の手もみ体験の継続により地元産業への関心を高めるとともに、お茶入れ体験を通じたおもてなしや思いやりの心を醸成するなど、お茶を通じた学習を推進していきます。



倉真小学校での茶の手もみ体験

基本方針4 歴史あるまち掛川の強みを活かす

取組の柱(1) お城及び周辺的环境・景観の整備

具体的な取組① 掛川城下地区の環境・景観の整備 **重点**

- ・「日本100名城」に選定された「掛川城」を中心とした掛川城下の地区は、城下町の風情が感じられる文化ゾーンです。今後も景観を保全していくために、「松ヶ岡」の保存と活用、「掛川銀行」の復元、道路の修景、「掛川城公園」及び周辺の整備、地区計画による街並みづくりの誘導を推進します。
- ・大手橋など掛川城天守閣のビューポイントを確保し、写真撮影スポットなどとして周知するとともに、眺めを損ねないよう建物や看板のデザインを誘導します。
- ・街歩きを楽しめる地区とするために、観光施設や歴史資源などをネットワークするように、周遊道や案内サイン、休憩スペースの整備を推進します。
- ・報徳活動の一環として市民や企業が行っている、駅周辺から掛川城周辺までの清掃活動を継続し、いつ来てもきれいで気持ちのよいまちを維持します。



掛川城下地区の街並み

具体的な取組② 高天神城の環境・景観の整備 **重点**

- ・「続日本 100 名城」に選定された「高天神城」の復元・整備を推進します。また、「高天神六砦」の周知・顕彰を進めていきます。



高天神城跡

具体的な取組③ 横須賀城の環境・景観の整備 **重点**

- ・「横須賀城」の復元・整備を推進するとともに、城下町の趣が残る横須賀街道と一体となった活用を図ります。



横須賀城跡

取組の柱(2) 街道の環境・景観の保全・整備

具体的な取組① 遠州横須賀街道の環境・景観の保全・整備

- ・掛川市景観条例に基づく「景観形成重点地区」に指定されている遠州横須賀街道地区において、歴史の趣が感じられる街並みの保全に取り組み、また、「歴史的風致維持向上計画」の重点地区として道路の修景も推進します。

具体的な取組② 街道の環境・景観の保全・整備

- ・ 旧東海道、塩の道、秋葉街道に残る、常夜灯や道標、松並木、町家などについて、歴史的な雰囲気を感じることができる地域資源として保存するとともに、沿道の良好な景観形成を図ります。中でも、東海道の随一の名残を残す日坂宿を宿場町として再現することで、地域資源としての活用も検討していきます。

取組の柱(3) 歴史資源の活用

具体的な取組① 歴史を活かしたテーマ別観光周遊ルートづくり

- ・ 古代・中世・近世などそれぞれの時代や、山城や400年の歴史ある遠江三十三観音霊場巡り、整備中の吉岡大塚古墳をはじめとした和田丘古墳群など、テーマごとの観光周遊ルートを設定します。
- ・ 広域に分布する遺跡をテーマとして関係自治体と連携した広域観光周遊ルートを設定します。

具体的な取組② イベントによる来城のきっかけづくり **重点**

- ・ 地元の高中生と協力してプロジェクションマッピングを推進し、掛川城における定期的な四季のイベントとして開催することで、夜の掛川城に市外から人を呼び込みます。
- ・ 主要な歴史文化施設を巡る地元ガイドによる掛川三城ものがたりツアーやスタンプラリー、三城にまつわる展示などを充実します。
- ・ 現地への来訪が必須となるフォトコンテストを開催し、受賞作品をインターネットで公開するなど、写真を通じてお城の魅力を多くの人に伝えます。
- ・ 日本城郭協会が定める「城の日（4月6日）」などでイベントを実施し、「掛川三城ものがたり」の魅力を国内外に発信します。

具体的な取組③ 誰もが観光ガイドになれる歴史の学習機会の充実 **重点**

- ・ 自らが住む地域の歴史を知ることは、郷土愛や誇りの醸成につながることから、掛川市埋蔵文化センターや大須賀歴史民俗資料館などと連携した歴史講座など、市民対象のイベントや講座を実施し、市民自身が本市の史実を魅力として発信できるようにします。
- ・ 歴史を学び、これからのまちづくりに活かすため、市民のみならず市外からも受講を目的に来たくなるよう、小説やドラマをテーマにすることや、一流の講師を招へいするなど、歴史講座を充実します。
- ・ 地域住民が観光ガイドとなって、歴史文化遺産などの案内をすることで、地域に誇りや愛着心を持つように促進します。
- ・ 学校の協力のもと、子どもの歴史や地域、英語の学習の機会を充実し、学生によるガイドボランティアの育成を検討します。

具体的な取組④ 城の魅力をイメージで伝える工夫 **重点**

- ・ 往時の建物や城下町の姿を想像できるような、解説板の改善、城攻めイベントの実施、AR(拡張現実)技術を活用したツアーの導入の検討など、城の魅力をイメージで伝える工夫をします。

具体的な取組⑤ 掛川城御殿の迎賓館としての活用検討

- ・ 掛川城御殿は国の重要文化財であるため、活用するにはハードルがありますが、MICE (p137 参照)の誘致も念頭に置きつつ、特別な会議や講演会、パーティー会場など活用を検討します。
また、松ヶ岡についても修復工事完了後、教養館、海外から訪れる方向けの宿泊施設、アートカフェなど、市民と観光客の交流の場としての活用を今後検討します。

取組の柱(4) 郷土芸能・伝統行事の伝承

具体的な取組① 郷土芸能・伝統行事の保存と公開

- ・ 地域資源としても価値のある郷土芸能・伝統行事の保存のため、後継者の育成に努めます。
- ・ 行事の様子を動画でインターネットに公開することで、「掛川に行ってみたい」という気持ちを高めます。



三熊野神社大祭

具体的な取組② 祭りの担い手に観光客が参加できる仕組みの検討

- ・ 三城の周辺で継承される掛川祭、三熊野神社大祭、高天神社例大祭の祭りについて、運営側の担い手や資金を補うとともに、異文化に触れたい観光ニーズに応えるため、祭りの意義を理解しながら観光客も体験参加できる進め方を検討します。これまでも「NPO 法人時ノ寿の森クラブ」は地域と観光客とのつなぎ役となっており、観光客の祭り参加を推進してきました。地域にとっても祭り文化の継承につながるメリットがあり、今後も同様の取組を推奨していきます。

取組の柱(5) シティミュージアム掛川構想の推進

具体的な取組① シティミュージアム掛川構想の推進

- ・ 文化施設の管理者やイベント主催者、市が連携し、市内にある掛川ならではの文化施設や歴史的建造物、祭りなどの伝統文化やイベントのネットワーク化を図り、「シティミュージアム掛川構想」のもと、市域全体を博物館と捉え、まちに学び、まちで学び、まちの人から学ぶ環境を整えます。

基本方針5 海外から訪れる方の興味を惹きつける

取組の柱(1) 海外から訪れる方に向けた地域の魅力発信

具体的な取組① ラグビーワールドカップ等を契機とした情報発信 **重点**

- ・「エコパ」で開催される「ラグビーワールドカップ」や「東京オリンピック・パラリンピック」の開催を契機として、開催前までに海外の観光情報サイトや旅行雑誌などに、掛川の観光情報の掲載を積極的に働きかけていきます。
- ・開催中は、海外から訪れた方に向けて、市民総ぐるみのおもてなしにより掛川の魅力を高めていきます。
- ・市在住の外国人の協力を得て、SNSなどを活用して、母国の方を惹きつけるように集中的に情報が拡散していくよう取り組みます。

具体的な取組② モニターツアーの実施

- ・外国人の視点から地域資源の発掘や体験交流プログラムの評価などを行うために、市の海外姉妹都市のネットワークや市内企業の海外のネットワークなどを活用して、海外メディアを含めた観光モニターツアーの実施を図ります。

具体的な取組③ 海外の方の興味を惹きつける取組の実施

- ・台湾など「富士山静岡空港」への就航国や、ビザ緩和国など新しい市場開拓国に関する調査を継続し、市内滞在と消費拡大の実現を図ります。
- ・訪日外国人向け人気サイト「ジャパンガイド」に掲載した掛川市プロモーション動画の活用や、海外の旅行会社や雑誌社、メディアなどを招くファミトリップ(p137 参照)を実施し、海外の方の興味を惹きつけるよう取組を行います。
- ・訪日外国人だけでなく、海外から日本へ就労している方向けの体験交流型プログラムを充実することで、本市ならではの地域の生活スタイルを提供します。
- ・つま恋リゾート彩の郷の災害拠点ヘリポート施設を、海外富裕層向けの観光ヘリポートとして活用ができないか可能性を検討していきます。

取組の柱(2) 多言語対応の改善・強化

具体的な取組① 各種案内の多言語表記への改善

- ・言語ごとの観光パンフレットや飲食店メニューなどの作成、鉄道やバスなどにおける多言語での案内、観光案内サインや説明板などの多言語表記、指差しシートの活用、ピクトグラム(p136 参照)の使用を推進します。

具体的な取組② 先端技術の活用による観光の支援

- ・ 外国人が観光をより快適に楽しめるように、観光施設や駅などにおいて公衆無線 LAN の環境整備、デジタルサイネージによる多言語でのリアルタイムな情報提供、翻訳アプリの活用などによる案内、クレジットカード・スマホ決済の推進などを図ります。

具体的な取組③ 外国語によるおもてなしの推進

- ・ 海外から訪れた方と外国語で挨拶や簡単な会話ができるよう、観光施設の従業員や市民を対象に、外国語会話講座を開催し、継続して実施していきます。
- ・ 観光案内所において、よりきめ細やかなサービスを行えるように、外国語で対応できる人材の確保に努めるとともに、JNTO 認定外国人観光案内所のカテゴリー2 (p136 参照) への認定を目指します。

具体的な取組④ 国際交流・国際相互理解の推進

- ・ 市民が主体となった国際交流機会の拡大を進めるとともに、異文化にふれあう機会や環境を整え、国際理解の促進に取り組みます。また、世界に向けた本市の魅力向上により交流人口の拡大や経済振興を図ります。

基本方針6 掛川に行きやすい、周りやすい環境を整える

取組の柱(1) 広域交通の利便性の向上

具体的な取組① 富士山静岡空港からのアクセスの確保

- ・「富士山静岡空港」利用者が本市を訪れやすいように、空港と「掛川駅」を結ぶ交通手段の確保を図ります。
- ・空港や「御前崎港」への交通アクセスの向上及び「リニア中央新幹線」開通を見据え、「東海道新幹線掛川駅」への「ひかり」の停車について促進していきます。

具体的な取組② 広域道路の整備

- ・広域の交通・交流を促す交通網の構築のため、国や県、市が連携し、国道1号バイパス(掛川・日坂)、国道150号、県道磐田掛川線の4車線化を促進します。
- ・高速道路を含む広域幹線道路間のネットワークとなる富士山静岡空港や小笠山総合運動公園等を結ぶ東・西環状道路の整備を促進します。
- ・東名高速道路及び新東名高速道路へのスマートIC設置について、可能性を検討します。

取組の柱(2) 地域間の交通利便性や周遊性の向上

具体的な取組① 地域間道路の整備

- ・地域間の道路網を強化するため、県と市が連携し、地域間幹線道路である、大須賀ルート、大東ルート、掛川ー御前崎ルートなどの整備を推進します。

具体的な取組② 公共交通によるネットワークの強化

- ・主要なバス停などを交通結節点とし、観光案内と公共交通の運行案内を一元的に提供する場を創出するなど、中心市街地・掛川駅と各地域の公共交通によるネットワークを強化します。
- ・中心市街地は大型バスの駐車場が少ないため、これら駐車場所の確保を検討していきます。

具体的な取組③ サイクリング環境の向上

- ・掛川駅でのレンタサイクルの実施を継続するとともに、他の交通結節点や主要観光施設においても周辺への周遊を促すレンタサイクルの実施を推進します。
- ・「バイク・フレンドリー・ステーション」(p136 参照)の設置に加えて、観光施設、飲食店、宿泊施設における安全な駐輪スペースの確保、自転車用ロードマップの作成などを進めます。

具体的な取組④ 交通結節点のバリアフリー化

- ・ 鉄道駅、バス停、駐車場などにおいて、掛川駅コンコースや「ほのぼのパス」(p137 参照)などの歩行空間の段差解消、ベンチの設置、公衆トイレの洋式化、多目的トイレの確保、容易な荷物移動等、バリアフリー化を推進します。



掛川駅のほのぼのパス(南北連絡道)

取組の柱(3) 観光施設、案内サインの整備・改修

具体的な取組① 観光施設の整備・改修

- ・ 観光施設については施設の保全と美化に努め、計画的な整備と改修を進めていきます。

具体的な取組② 公的な案内サインの整備・改修

- ・ 案内サインを改修する際には、サインの体系的な設置、デザインの統一、多言語表記、QRコード表記などを推進します。
- ・ 文字の代わりに視覚的な図を用いたピクトグラムを用いるなどユニバーサルデザインに配慮したものを進めていきます。

具体的な取組③ 民間の屋外広告物の誘導

- ・ 沿道などの観光施設の案内サインについて、良好な景観を形成していくために、屋外広告物条例を活用し、広告物のデザインなどの誘導を図ります。

取組の柱(4) 周遊を促すコースとサービスの提供

具体的な取組① 掛川駅を起点とする市内周遊コースの充実 **重点**

- ・ 掛川駅周辺は歩いて廻ることができる観光施設が多くあり、「観光コンパクトシティ」といえます。掛川駅を起点に、まずは定番コースとして、市内の代表的な観光地を巡る「市内周遊テッパンコース」を設定し、ポイントとなる場所にテーマ性のある案内板や解説板、休憩設備を整備するなど、重点的にコースづくりを進めます。
- ・ 定番コースに加えて、まちのシンボルや大規模集客施設を核に、地域資源を一定のテーマでつなげた、複数の「アラカルト・コース」を充実します。

既存のコース:

- 掛川城の周辺の観光施設や史跡を訪れる、掛川城周辺・散策コース
- 美術館・文学館を鑑賞後、温泉を楽しむ、アート・温泉コース
- 粟ヶ岳を散策後、大露天風呂が楽しめる、自然・温泉コース
- 高天神城跡の散策と遠州灘へのドライブを組み合わせた、高天神城跡散策コース など

- ・ 春の桜、夜のお城のライトアップなど時の移ろいが掛川のまちをより魅力的にしていることから、一年に何度訪れても楽しめるよう、季節や朝昼晩といった時間の変化を意識した周遊コースを充実します。そのためには、早朝や夜間の開館イベントなども企画し、再度訪れていただく観光客を増やしていきます。
- ・ 駅の利用者が出発までの空き時間で楽しめるよう、駅周辺の歴史的建造物や水辺などを短時間で回れる「かけがわショートコース」を充実します。

具体的な取組② 周遊サービスの推進 **重点**

- ・ 本市では、掛川城周辺と掛川花鳥園をお得に周遊できる「掛川まる得パスポート」を販売し、多くの観光客に利用いただいています。今後も、連携する観光施設や飲食店を確保し、周遊商品の普及拡大に努めます。
- ・ 大きなイベント時や行楽シーズンの週末などに、シャトルバスの運行だけでなく、市内の観光スポットや掛川茶に関するスポットを巡回する観光バスの運行を検討します。
- ・ 来訪者が駅を拠点に市内各地を訪問できるよう、レンタサイクルの利用を促進します。
- ・ 公式アプリを開発し、電子スタンプラリーや電子クーポンの提供などにより、市内の観光施設などの周遊を促すとともに、市内での消費を促す仕組みを検討します。また、利用者の行動パターンを知ることで、観光マーケティングに活かします。



掛川まる得パスポートチラシ

具体的な取組③ 情報インフラ等の整備

- ・ 公衆無線 LAN やキャッシュレス環境の整備などインフラ整備を実施し、良好な滞在環境を構築することで滞在期間の延伸を図ります。

基本方針7 観光情報のコミュニケーション力を強化する

取組の柱(1) メディアを活用した情報の効果的な活用

具体的な取組① メディアミックスによる効果的な情報活用

- ・ 多くの人が日々情報を得ているテレビ、新聞、ラジオなどのマスメディアに情報を積極的に伝え、これらの働きかけにより、メディアが伝えたいような情報を効果的に活用していきます。
- ・ 発信する際には各メディアの分類及び特徴を把握し、複数のメディアを活用して情報を取り扱います。
- ・ 夕方や夜に放送される県内テレビ局の情報番組は、特に県民に観光やグルメ情報を詳しく提供していることから、積極的に働きかけを行っていきます。

具体的な取組② 見やすく充実したホームページへの改善 **重点**

- ・ 市及び観光協会のホームページを、より見やすい、より探しやすい、より楽しいサイトとなるように随時改良・充実していきます。あわせて、スマートフォンに対応した総合観光案内サイトの立ち上げを図ります。
- ・ 各地で開催されている祭りやイベントは、住民にとっては日常的であっても、地域外の人にとっては新鮮なものであるため、小規模であっても地域のイベントの情報を観光協会へ集約する仕組みを構築します。
- ・ 観光協会のホームページなどを活用した、年間イベントカレンダーの公開など、関係団体や観光客がを見つけやすく、入手しやすい形で情報を整理します。
- ・ 地区まちづくり協議会や庁内各課など、各団体が作成している地域資源のマップやリーフレットについても、デジタルアーカイブ化など集約し、効果的に拡散する仕組みを構築します。
- ・ 観光施設の開館日、飲食店の開店日、イベントの開催内容など、その代表者や主催者が直接アップロードし、ホームページなどに一覧として自動的に掲載される仕組みを構築することを検討します。



観光協会のホームページ

具体的な取組③ SNSによる情報コミュニケーション力の活性化 **重点**

- ・ 公式のフェイスブックやインスタグラムについて、内容の充実に努め「シェア」や「いいね」を拡大するとともに、YouTubeなどの他のサイト・SNSから提供する情報について、他の人にも情報を伝えたいような仕掛けを工夫します。
- ・ インスタ映えする魅力的なビジュアルが人々の関心を惹きつけていることから、質の高い画像や動画を確保し、見た人が魅力を伝えたいような情報活性の材料として活用していきます。

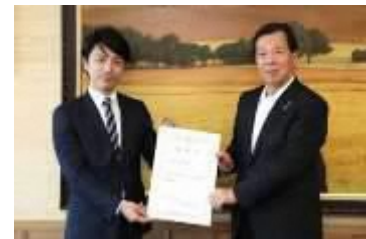
- ・ 人気ブロガーや YouTuber の協力を得て、「YouTube」や「ポッドキャスト」(p137 参照)などを活用して国内外へ情報が拡散されるよう進めていきます。
- ・ 市民や事業者を対象にした、SNS セミナーの実施などにより、一人ひとりの情報コミュニケーションスキルを向上し、住民目線での情報発信、主観や感情が込められたストーリー性のある情報発信を活性化させます。

具体的な取組④ ふるさと納税制度を活用した魅力向上

- ・ ふるさと納税制度を通して、市外・県外の方に本市の観光地としての魅力を高めるために、返礼品として名産品や宿泊券を充実させるとともに、体験交流プログラムをメニューとして加えることを検討します。

具体的な取組⑤ 掛川ゆかりの著名人を通じたプロモーションの推進 **重点**

- ・ 多くの功績を残す「輝くかけがわ応援大使」や「お茶大使」の協力を得て、各自のブログや SNS などにおいて掛川の観光情報等を取り上げていただき、そのファンなどを通じて魅力が拡散していくよう引き続き働きかけていきます。
- ・ 掛川出身のスポーツ選手や著名人などの応援を今後も推進し、情報収集に努めます。
- ・ ご当地キャラクターを活かした情報受発信に取り組みます。



「輝くかけがわ応援大使」の委嘱式

具体的な取組⑥ フィルムコミッション活動の推進による地域資源の魅力向上 **重点**

- ・ 映画やテレビドラマ・アニメを通じて本市の認知度向上と、地域資源の魅力向上、さらには郷土愛の醸成を図るために、フィルムコミッション活動を推進します。

取組の柱(2) 観光案内できる場所の充実

具体的な取組① 駅などの拠点における観光案内サービスの充実 **重点**

- ・ 掛川駅南口の「旅のスイッチ」「たびスタ」、プラザ大須賀の「南部観光案内処」において、外国語対応や市内の観光・交通情報の提供に加え、デジタルサイネージやタブレットパソコンでの当日の体験プログラムの提供、Wi-Fi ルーターレンタルや手荷物の預かりなど、サービス機能の充実を図ります。



掛川駅南口「旅のスイッチ」

具体的な取組② 観光案内できる場所の充実 **重点**

- ・ 多くの観光客が訪れている「掛川城」「川坂屋」「道の駅」などにおいても、パンフレットを並べるだけでなく、市全体の観光案内ができる体制を推進していきます。
- ・ ガソリンスタンドやコンビニエンスストアなど、来訪者が立ち寄りそうな店舗に観光マップを配置するなど、“観光案内協力店”を育成します。

基本方針8 連携した観光産業の推進体制を図ります

取組の柱(1) 市内連携の強化

具体的な取組① 各種事業者・団体の連携強化と情報誌等による魅力向上 **重点**

- ・ 掛川の主要な観光施設であるつま恋リゾート彩の郷、掛川花鳥園、加茂荘花鳥園、掛川城などと連携し、相互に情報交換するとともに、互いの強みを活かした誘客を促進します。
- ・ 観光関連の団体や事業者だけでなく、他の産業とも、イベント開催、体験プログラムの開発・提供などの取組を連携しつつ実施できるように、観光協会による調整や引き合わせ、全体による連絡会議の開催などを図ります。
- ・ メディアの方を招待するプレスツアーの企画、JR東海や天竜浜名湖鉄道の鉄道事業者との連携など、観光関連の事業者とともに地域資源の情報を発信していきます。
- ・ 音楽の聖地と言われる「つま恋リゾート彩の郷」や大型イベント施設エコパがある当市の強みを活かし、「カケガワバンドフェスティバル」などの市民音楽イベントと連携し、「音楽のまち掛川」を発信していきます。
- ・ それぞれが作成する情報誌や HP などに掛川の魅力に掲載し、市民総ぐるみにより魅力が向上されるよう進めていきます。
- ・ 各地域が持つ特色ある地域資源の強みを活かすため、地域内の団体や施設と連携し、地域への誘客を進めていきます。



JR さわやかウォーキング

具体的な取組② 市庁内の連携強化

- ・ 観光分野は、シティプロモーション、農業、商工業、教育など他分野と関連した取組が多く、常に連携することが必要です。あらゆる産業に波及させるためには、それぞれの分野が連携することで相乗効果が生まれ、取組が活性化され、地域振興につながっていきます。
- ・ 観光施策を推進していく体制としては、全ての関係課の係わりが必要となるため、観光担当課が中心となり、観光振興の施策に係る連携・調整を図る定期的な機会を確保します。

具体的な取組③ 観光協会の組織力の強化

- ・ 観光協会では、観光案内所の運営、イベントの開催や観光地づくりを推進するとともに、掛川観光の企画やコーディネート、自主財源の確保を求められることから、事務局体制の強化を図ります。

具体的な取組④ 観光客の安心・安全の確保

- ・ 市外から訪れた方が災害時においても安心・安全に対処できるよう、平常時から観光に関する団体や事業者での防災活動を促進するとともに、発生時においても必要な情報を的確に伝達する体制を強化するなど、官民の連携体制を整えます。
- ・ 県と連携した避難誘導マニュアルや避難マップの整備を進めるとともに、観光庁が提供している外国人旅行者向け災害時情報提供アプリ「Safety tips」の利用を促進します。

取組の柱(2) 広域連携の強化

具体的な取組① 広域連携による観光商品づくり

- ・ 本市を含む周辺市町全体への観光客の増加を図るため、周辺自治体で構成する「静岡県西部地区観光協議会中東遠地区」、「静岡遠州観光ネットワーク」、「富士山静岡空港周辺地域観光振興研究会」により、広域地域として連携した魅力的なコースなどの設定やイベント開催、営業活動により、当地を選んでもらえるような活動をしていきます。
- ・ 空(富士山静岡空港)と海(御前崎港)と陸(新幹線掛川駅、高速道路・バイパス)のある広域的な地域特性による連携を進めていきます。

具体的な取組② DMOの研究

- ・ 魅力ある観光地域づくりに関して、戦略策定、各種調査、マーケティング、商品づくり、プロモーションなどを一体的に実施する組織体 DMO の設立について、周辺自治体とともに研究を図ります。

3 重点とする取組

～5つの資源による相乗効果の発揮と観光情報のコミュニケーション力の活性化～

本市には多くの地域資源があり、前項の具体的な取組によって地域資源が磨かれていく事となりますが、観光振興を戦略的に進めるためには、まずは本市の強みとなる資源を絞り込み、それを核にして他の資源とつなげて取組を展開していくことが効果的だと考えます。

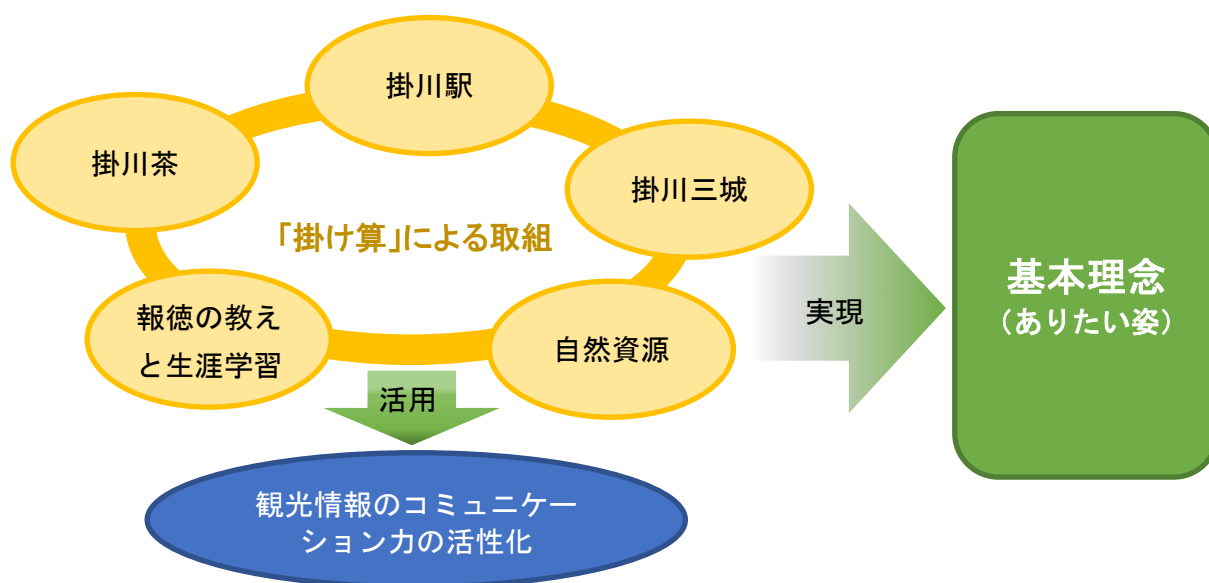
そこで、前項の取組の中から重点的に取りかかるべき取組を抽出または組み合わせ、観光イメージを確立できる素材を伸ばしていきます。

また、地域資源を一層輝かせ、持続可能な観光振興を進めるには、市民の力が不可欠であることから、市民の関心を惹くよう、多くの人が掛川の自慢だと思っている資源に焦点を当て、体験プログラムに代表されるコトづくりなど、市民が主体的に参加する取組を進めていきます。

以上のことから、次の5つの資源を観光振興の核とし、これらの資源とつなげた取組と全体に係る観光情報のコミュニケーション力の活性化を重点とする取組とし、全般的な取組の中でも優先的に推進していきます。

観光振興の核とする5つの資源と基本理念の実現

基本理念の実現に向けて、以下の5つの地域資源の特徴を融合させる「掛け算」の発想の取組を推進していきます。



5つの地域資源

掛川茶

掛川茶の主流は深蒸し掛川茶で、産地賞を3年連続、通算21回と最多受賞を果たし、その品質の高さが全国で認められています。また、荒茶生産量は全国トップクラスを誇ります。

さらに、本市や周辺市町で継承されている「静岡の茶草場農法」は世界農業遺産に認定されました。

粟ヶ岳の茶文字は、お茶づくりにかける掛川の人々の心意気の表れであり、遠方や飛行機内からもよく見えるまちのシンボルです。



茶文字と茶畑

掛川駅

新幹線掛川駅は、多くの市民募金と県内の市町村の支援によって開業した「市民駅」とも言えるもので、中東遠地域への観光やビジネスの玄関口となっています。この交通基盤を活かし、情報コミュニケーションの起点となる重要な役割を担っています。

また、全国に多くの木造駅舎がありますが、新幹線の停車駅で現存する木造駅舎が残されているのは掛川駅が唯一です。



JR 掛川駅舎

掛川三城

歴史に名を残す3つの城は、それぞれ特色があり、地域のシンボルとして、数々の歴史小説や大河ドラマに登場してきました。

日本初の本格木造天守閣として復元された日本100名城の掛川城、地形を巧みに活かした続日本100名城の高天神城、玉石の石垣を持つ横須賀城と、どれも特徴的な歴史・文化資源です。



掛川城と桜

報徳の教えと生涯学習

報徳運動は、江戸時代末期から各地で困窮する村を救い、農民生活の安定化で実学的な手法で浸透しました。静岡県では、明治30年代、420社に及ぶ「報徳社」が結成され、とりわけその活動が盛んだったのは掛川市でした。掛川市には、その報徳の教えと生涯学習が引き継がれ、報徳の教えや生涯学習の理念を根幹とした経済と道徳のバランスがとれたまちづくりが実践されています。



大日本報徳社

自然資源

広い市域の掛川市は、北は標高832mの八高山から南は遠州灘まで四季折々の特色がある自然資源が豊かなまちであり、美しい茶園風景に加え、桜やゆり、ハルリンドウ、紅葉など花木が多く存在します。

また、「つま恋リゾート彩の郷」「掛川花鳥園」「加茂荘花鳥園」などの民間施設では、四季を通じて花や鳥を見ることができ、大東地域にある「そよかぜ広場」では、地域住民により菜の花、ひまわり、コスモスと季節に応じた花畑をつくっており、市内外から多くの来訪者で賑わっています。



ササユリ

重点とする取組1 掛川茶の活用

市内をまるごと使ってお茶の生産から喫茶まで体感できる取組を推進するとともに、遠方や未来の掛川茶ファンづくりを進めます。また、掛川茶の中でも特に掛川市の売りである深蒸し掛川茶の魅力を伝えていきます。

●まちなかで“茶のまち掛川”を感じる演出

具体的な取組 2(2)②、3(2)①、3(2)②、3(2)④、3(3)②

◇おいしい掛川茶を飲める場づくり

- ・「おいしい掛川茶が飲める店」の認定制度の推進、該当店マップの作成、スタンプラリーの実施などにより、本物の掛川茶が飲める機会を増やします。【3(2)①】
- ・大学や料理研究家の協力、魅力あるお茶菓子の提供、美しい風景の確保などにより、掛川茶が飲める店の魅力や価値を高めます。【3(2)①】
- ・二の丸茶室の「夜の茶会」など、まちなかの歴史的建造物で煎茶や抹茶を提供する取組を充実し、特別な気分で喫茶を楽しめる機会をつくります。【3(2)①】

◇宿泊施設や飲食店とのコラボレーション

- ・飲食店や宿泊施設において、掛川茶の積極的な提供や販売、掛川茶の紹介を記載したコースターなどの商品の企画・製作など、掛川茶の普及に努めます。【3(2)②】
- ・宿泊施設に「掛川茶マイスター」を配置するなど、おいしい掛川茶が飲める宿泊施設を増やし、まちのイメージアップにつなげます。【3(2)②】

◇駅周辺でお茶に癒される取組の推進

- ・掛川駅周辺や観光案内所において、お茶を焙じる機械や給茶ポットを設置するなど、良いお茶の香りと掛川らしいおもてなしの心を伝えます。【3(2)④】
- ・掛川駅周辺の飲食店におけるお茶を全面に打ち出した料理やスイーツの提供、該当店マップの作成など、お茶のまち掛川を感じる取組を進めます。【3(2)④】

◇お茶を使った地元グルメの発掘・開発

- ・掛川茶を使ったスイーツや緑茶に合う創作料理のコンテストの開催など、話題づくりを図るとともに、掛川の名物やお土産品の発掘・開発につなげます。【3(3)②】
- ・お茶やほうじ茶を使ったクラフトビールなど新たな地元グルメを発掘、情報の拡散を行い、地域の活性化を図ります。【2(2)②】



掛川茶を使ったクラフトビール

●郊外で“世界農業遺産のまち掛川”を感じる体験の充実

具体的な取組2(1)④、2(3)②、2(3)③、3(1)①

◇掛川茶の生産地を体験できる環境整備やプログラムづくり

- ・「栗ヶ岳世界農業遺産茶草場テラス」を整備し、茶草場農法の紹介、深蒸し茶の提供など、掛川茶に触れる観光の拠点として活用します。【3(1)①】
- ・世界農業遺産認定地区の里山の自然を体験できるガイドツアーなどを継続実施します。【2(1)④】
- ・栗ヶ岳のウォーキングやサイクリングのコースの整備、ビューポイントの活用、市民参加による桜の管理などにより、自然に癒される場所としての魅力を高めます。【3(1)①】
- ・栗ヶ岳は、健康づくりや景観を五感で感じる目的で、歩いて登ることを推奨していきます。栗ヶ岳を活用した深蒸し茶とハイキングの組み合わせにより、世界一の長寿立志を目指します。【3(1)①】



茶草場刈り体験の様子



ゆるゆる遠州ガイドライド

◇栗ヶ岳ならではの地元グルメの発掘・開発

- ・栗ヶ岳で食べられる「のら弁」など、掛川ならではの地元グルメの磨き上げと掘り起こしにより、地域の食文化を感じられる取組を進めます。【3(1)①】

◇農泊の推進による茶草場農法の維持

- ・既に農泊を実践している方への情報提供、田舎暮らしに関心のある人から注目される地域づくり、新たな受入れ農家の育成など、農泊を推進します。【2(3)②】
- ・農業に関心がある方や掛川の暮らしを体験してみたい方と、農繁期の手助けを必要としている農家を結びつける、ワーキングホリデーの実施を検討します。【2(3)③】

●広域から人を惹きつけるお茶イベントの充実

具体的な取組3(3)②、3(4)①

- ・「かけがわ茶エンナーレ」は、今後も改善を加えつつ継続開催し、遠方の人や若い人を掛川に惹きつけるきっかけとしていきます。【3(4)①】
- ・「月夜の茶摘み会」の継続や朝にスポットを当てたイベントの検討など、宿泊して体験してみたいくなるイベントを充実します。【3(4)①】
- ・茶菓子と深蒸し掛川茶を組み合わせたイベント、掛川茶を使ったスイーツのコンテスト、急須でお茶を淹れる魅力に触れてもらうイベントの開催など、茶業と観光の振興を図ります。【3(3)②、3(4)①】



月夜の茶摘み会

●将来の”掛川茶ファン“を育てる「茶育」の推進

具体的な取組1(1)②、2(3)③、3(4)③

- ・子どもを対象にした茶の手もみ体験、お茶入れ体験を通じておもてなしや思いやりの心を醸成するなど、お茶を通じた学習を推進していきます。【3(4)③】
- ・学校と協力して子どもたちが掛川のまちづくりの歴史を知る機会を創るとともに、子どもの先生となる市民を育てるため、大人を対象にした学びの機会を充実していきます。【1(1)②】
- ・茶の収穫や急須でのお茶の入れ方、地元料理の作り方といった体験学習を提案するなど、都会からの修学旅行の受け入れを検討します。【2(3)③】



T-1 グランプリ



学生のお茶摘み体験

5年後に目指したい姿

- ☆掛川といえば「お茶」「深蒸し茶」をイメージする人が増えている
- ☆お茶を活用して、飲食店や宿泊施設のおもてなし度が向上している
- ☆粟ヶ岳周辺でお茶づくりを体験できる環境やプログラムが充実している
- ☆お茶を通して、遠方の掛川ファンが増え、未来の掛川ファンが育っている

重点とする取組2 掛川駅の活用

掛川駅を観光の起点として観光情報を発信するとともに、玄関口でのおもてなしの充実、玄関口から中心市街地へ、中心市街地から郊外へと来訪者をいざなう取組を推進します。

●駅周辺の観光案内とサービスの充実

具体的な取組3(2)②、5(2)③、7(2)①、7(2)②

- ・観光案内所において、外国語対応や市内の観光・交通情報の提供に加え、デジタルサイネージやタブレットパソコンでの当日の体験プログラムの提供、Wi-Fi ルーターレンタルなど、サービス機能の充実を図ります。【7(2)①】
- ・観光案内所において、外国語で対応できる人材の確保に努めるとともに、JNTO 認定外国人観光案内所のカテゴリー2への認定を目指します。【5(2)③】
- ・「掛川城」など、多くの観光客が訪れている施設でも観光案内ができる体制を推進します。また、ガソリンスタンドやコンビニエンスストアなど、来訪者が立ち寄りそうな店舗に観光マップを配置するなど、“観光案内協力店”を育成します。【7(2)②】
- ・レストラン及び居酒屋での飲食時、宿泊施設でのチェックイン時などにおいて、掛川茶の種類を来訪者が選べるようにするなど、来訪者の好みに応えとともに、掛川茶の提供、販売を積極的に行い、お茶の文化と効果を学ぶ機会を提供し、掛川茶について理解を深めてもらうサービスに努めます。【3(2)②】



外国人を英語で案内する掛川城忍者ガイド

●駅北中心市街地の年間を通じたイベントの推進

具体的な取組2(2)③、3(3)②

- ・「けっトラ市」、「掛川商工まつり」、「掛川クラフトビールフェスタ」など、駅北中心市街地の商店街を活用した集客イベントについて、さらに集客できるよう創意工夫し、掛川の個性あるプロモーションイベントが増えていくように推進していきます。【2(2)③】
- ・「お酒のまち 掛川」の情報コミュニケーション力を活性化し、商工会議所青年部や商店街と協力したアフター5の夜活イベントの開催を検討します。賑わいが増えることで、飲食店の魅力を向上し、お酒を飲む飲食店の人口割合日本一を目指します。【2(2)③】
- ・掛川茶を使ったスイーツや緑茶に合う創作料理のコンテストの開催など、話題づくりを図るとともに、掛川の名物やお土産品の発掘・開発につなげます。【3(3)②】



けっトラ市

●掛川駅を拠点とする市内周遊コースの設定と利用促進

具体的な取組6(2)③、6(3)①、6(4)①、6(4)②

- ・ 掛川駅周辺は歩いて廻ることができる観光施設が多くあり、「観光コンパクトシティ」といえます。掛川駅を拠点に、まずは定番コースとして、市内の代表的な観光地を巡る「市内周遊テッパンコース」を設定し、ポイントとなる場所にテーマ性のある案内板や解説板、休憩設備を整備するなど、重点的にコースづくりを進めます。【6(3)①、6(4)①】
- ・ 定番コースに加えて、まちのシンボルや大規模集客施設を核に、地域資源を一定のテーマでつなげた、複数の「アラカルト・コース」を充実します。【6(4)①】
- ・ 一年に何度来ても楽しめるよう、早朝や夜間の開館イベントなどを企画し、季節や朝昼晩といった時間の変化を意識した周遊コースを充実します。【6(4)①】
- ・ 駅の利用者が出発までの空き時間で楽しめるよう、駅周辺の歴史的建造物や水辺などを短時間で回れる「かけがわショートコース」を充実します。【6(4)①】
- ・ 来訪者が駅を拠点に市内を周遊できるよう、「掛川まる得パスポート」の周遊商品の普及拡大、レンタサイクルの利用促進、巡回バスの運行や電子スタンプラリーの検討などを行います。【6(2)③、6(4)②】



掛川城御殿での月夜の煎茶会

●食べ歩きを楽しめる地元グルメの普及と情報コミュニケーション力の活性化

具体的な取組2(2)②、3(3)①、3(3)②

- ・ 郷土食や地場の旬のものを使った料理を後世につなぐと共に、個性ある地元グルメとして育てていくため、飲食店への普及や情報のコミュニケーション力を活性化します。【2(2)②】
- ・ 掛川茶を使った名産品の磨き上げ、「掛川スタディ」の成果を活かした健康増進につながる商品の開発、特産品を使った新たな地元グルメの発掘・開発、三城の歴史になぞらえた料理の提供などにより、地域の活性化を図ります。【2(2)②、3(3)①、3(3)②】
- ・ 市内を周遊しながら、地元の飲食店を利用してもらえるよう、市民が好んでおすすめする店舗や観光スポット、周遊コースをわかりやすく紹介する、多言語対応のガイドマップやアプリを充実します。【2(2)②、5(2)①】

5年後に目指したい姿

- ☆ 掛川駅周辺がにぎわっている
- ☆ 駅などの拠点で観光に関する情報がわかりやすく提供されている
- ☆ 駅起点の多様な周遊コースが用意され、交通サービスやサインが充実している
- ☆ 地元グルメに関する情報の受発信が活性化している

重点とする取組3 掛川三城ものがたり

各地のシンボルとなっている掛川三城（掛川城・高天神城・横須賀城）を核として、歴史的なつながりによるストーリー性を持たせ、景観を保全するとともに、さらなる地域の魅力の掘り起こしとガイドの充実により、来訪者の満足度を高める取組を推進します。

●三城それぞれの趣きを感じられる環境・景観の整備

具体的な取組4(1)①、4(1)②、4(1)③、4(2)①、6(3)①

◇掛川城下地区の環境・景観の整備

- ・「掛川城」を中心とした掛川城下の地区は、城下町の風情を感じられる文化ゾーンです。今後も「松ヶ岡」の保存と活用、「掛川銀行」の復元、道路の修景、「掛川城公園」及び周辺の整備、地区計画により、城下町の風情を感じられる景観を形成していきます。【4(1)①】
- ・掛川城天守閣のビューポイントを周知するとともに、眺めを損ねないよう建物や看板のデザインを誘導します。【4(1)①】
- ・街歩きを楽しめる地区とするために、観光施設や歴史資源などをネットワークするように、周遊道や案内サイン、休憩スペースの整備を推進します。【4(1)①、6(3)①】
- ・報徳活動の一環として市民や企業が行っている、駅周辺から掛川城周辺までの清掃活動を継続し、いつ来てもきれいで気持ちのよいまちを維持します。【4(1)①】



城下町の風景



掛川城と調和のとれた清水銀行

◇高天神城と横須賀城の環境・景観の整備

- ・「高天神城」の復元・整備を推進するとともに、「高天神六砦」の周知・顕彰を進めていきます。【4(1)②】
- ・「横須賀城」の復元・整備を推進するとともに、城下町の趣が残る横須賀街道の街並みを保全し、お城と街並みを一体的に活用します。【4(1)③、4(2)①】



小笠山砦

●地域ぐるみでお城の魅力の掘り起こし

具体的な取組1(4)③、2(2)②、4(3)②

- ・ 地域住民が自分の地域資源を知り、それぞれの地域の特色を活かした地域資源の掘り起こしや磨き上げを行います。【1(4)③】
- ・ 掛川らしさを感じる自然や歴史・文化の景観を保全するため、市民や事業者の意識を高めるとともに、景観に配慮した開発行為や建築行為を誘導していきます。【1(4)③】
- ・ 常に観光トレンドを調査し、時代に即したスポットを本市ならではの地域資源として魅力が向上していくことを図ります。【1(4)③】
- ・ 関係団体や企業、地元の高校生、郷土史家などが一緒になって、現地のフィールドワーク等により、お城周辺観光マップを作成して、お城をキーとした地域の歴史スポットやストーリー、食の魅力を掘り起こします。【1(4)③】
- ・ 地元の高校生と協力してプロジェクションマッピングを推進し、掛川城における定期的な四季のイベントとして開催することで、夜の掛川城に市外から人を呼び込みます。また、三城にまつわるツアーやフォトコンテストなどのイベントを充実します。【4(3)②】
- ・ 飲食店で、三城の歴史になぞらえた料理やスイーツを提供することで、その店舗に歴史ファンが集まり、同じ趣味を持つ者同士のコミュニケーションスポットとして成長していくことを進めていきます。あわせて地元グルメの発掘・開発などを進め、城巡りの魅力を高めます。【2(2)②】



掛川城最中

●想像力とロマンをかき立てるガイドやイベントの充実

具体的な取組1(2)②、4(3)④

- ・ 市民を、観光のガイドや各種体験の先生として育成するため、より深い知識や技術を取得するための学習機会を創出します。【1(2)②】
- ・ 産学官の連携による教育プログラムづくり、民間人材の活用などにより、地域資源に関する専門性を備えた人材を育成します。【1(2)②】
- ・ 観光ボランティアガイドを対象に、研修の実施、観光先進都市への視察研修などによるスキルアップを図るとともに、有償によるガイドの実施も進めていきます。また、通訳案内士法改正を受け、研修の実施などにより、外国語にも対応したボランティアガイドの育成を図ります。【1(2)②】
- ・ 解説板の改善、城攻めイベントの実施、AR(拡張現実)技術を活用したツアーの導入の検討など、城の魅力をイメージで伝える工夫をします。【4(3)④】

●誰もがガイドになれる歴史の学習機会の充実

具体的な取組1(1)②、4(3)③

- ・ 掛川市埋蔵文化センターと連携した歴史講座など、市民対象のイベントや講座を実施し、市民が本市の史実を魅力として発信する広告塔となるよう取り組みます。

【4(3)③】

- ・ 市民のみならず広域からも受講を目的に来たくなるよう、小説やドラマをテーマにすることや、一流の講師を招へいするなど、歴史講座を充実します。【4(3)③】
- ・ 地域住民が観光ガイドとなって、歴史文化遺産などの案内をすることで、地域に誇りや愛着心を持つように促進します。【4(3)③】
- ・ 学校の協力のもと、子どもの歴史や地域、英語の学習の機会を充実し、学生によるガイドボランティアの育成を検討します。【1(1)②、4(3)③】



歴史トークイベント

5年後に目指したい姿

- ☆ 掛川といえば「お城」をイメージする人が増えている
- ☆ お城にまつわる地域資源の発掘と磨き上げが進んでいる
- ☆ 三城ものがたりを体験できる環境やプログラムが充実している
- ☆ 地域の歴史を自分の言葉で語れる人が増えている

重点とする取組4 報徳の教えと生涯学習の文化継承

二宮尊徳の「報徳の教え」を広めるための全国組織の本社である「大日本報徳社」は、掛川市にとって貴重な存在で、多くの来訪者がその報徳の教えに感銘を受けてきました。

また、報徳の教えとともに、生涯学習によるまちづくりが進められてきた掛川市は、今後もこのような道德教育を後世まで継承することで、地域に誇りと愛着心を持つ市民を増やすとともに教えに触れる機会や取組を推進します。

●学びの機会の充実

具体的な取組1(1)①、1(1)②

- ・ これまでの報徳の教えと生涯学習のまちづくりについて、「かけがわ未来づくり会議」などにおいて学びの機会を充実し、地域に誇りを持つ市民を増やしていきます。また、市が管理・工事中の現場を見学するツアーを企画し、市民への理解を深めます。【1(1)①】
- ・ まちの未来を担う子どもたちを対象に、学校の郷土学習や総合学習を活用して、掛川のまちづくりの歴史を知る機会を創ります。また、子どもの先生となる市民を育てるため、大人を対象にした学びの機会を充実していきます。【1(1)②】



大日本報徳社内覧会

●報徳の教えと生涯学習の観光への活用

具体的な取組2(1)②、2(1)⑥

- ・ 報徳の教えの解説書「心のスイッチ」等を活用した生涯学習と報徳文化のガイドツアーなどを実施し、報徳の教えを誘客資源とした取組を進め、将来の大河ドラマ化を目指していきます。【2(1)②、2(1)⑥】
- ・ 企業研修、海外視察、修学旅行などあらゆる機会では報徳の教えに触れる機会を設け、全国、全世界から報徳社に人を呼び込むプログラムの実施を検討します。【2(1)⑥】
- ・ 周恩来元首相と松本亀次郎先生のろう人形寄贈を契機に、「日中友好の架け橋拠点」となるよう、生涯学習や報徳を通じて交流人口の拡大を進めます。【2(1)⑥】
- ・ 全国の観光会社等が惹かれる講演会を大日本報徳社で継続開催し、旅行商品化に繋がる取組を進めます。【2(1)⑥】



松本亀次郎公園

●報徳の教えと生涯学習を活用した観光人材の育成

具体的な取組1(2)②、1(3)①、1(4)③

- ・ 地域学習の推進などによって観光人材を育成する中で、掛川のまちそのものが報徳の教えと生涯学習による市民総ぐるみで成長してきたまちということを伝えられるスキルを身につける機会を検討していきます。【1(2)②】
- ・ 地域住民が自分の地域資源を知り、それぞれの地域の特色を活かした地域資源の掘り起こしや磨き上げを行います。また、地域住民が観光ガイドとなって、案内することで、地域に誇りや愛着心を持つように促進します。具体的には、ハイキングコースの整備や観光マップの作成、歴史文化遺産の案内などに取り組みます。【1(3)①、1(4)③】



粟ヶ岳から倉真ハイキングコース

5年後に目指したい姿

- ☆報徳の教えと生涯学習のまちづくりについて知っている人が増えている
- ☆報徳の教えと生涯学習をテーマに「学び」の体験プログラムが充実している
- ☆地域ぐるみでの地域資源の磨き上げや情報発信の機運が高まっている

重点とする取組5 自然資源の活用

北は標高 832mの八高山をはじめとする山地から南は遠州灘まで広い市域を持つ掛川市は自然資源の宝庫であり、他分野との「掛け算」によって、地域資源としての魅力をさらに引き出せる可能性があるため、スポーツや環境学習などの複数の分野と掛け合わせた取組を中心に推進していきます。

●山、海、温泉の自然の恵みを体験できる環境の充実

具体的な取組1(4)②、1(4)④、1(4)⑤、2(1)④、3(1)①

- ・ 海岸部ではマリンスポーツの拡充、海岸防潮堤を活用した新たなサイクリスポーツの聖地化としての活用、山間部ではトレッキングやトレイルラン等のメッカとなるよう検討していきます。また、温泉が併設されている、あるいは日本一静かなキャンプ場といった個性を活かしたキャンプ場の整備・活用及び情報の受発信を進めていきます。【1(4)②】
- ・ 自然資源を活かし、茶草場周辺の花やホタル、星の鑑賞会などを継続実施し、市内外からの来訪者に貴重な体験ができる環境を維持していきます。例えば、彗星発見の丘は多くの方が集まる可能性が高くなり、このような場所を星空カフェのような拠点としていくことなどを検討します。【2(1)④】
- ・ 自然豊かな市内には希少な動植物がたくさん存在しています。地域や自然保護団体とも連携し、希少な動植物を開発や違法採取などから保全します。そのためにも自然保護の必要性を伝えると共に、自然を五感で感じる体験ツアーの造成を促していきます。【2(1)④】
- ・ 「粟ヶ岳世界農業遺産茶草場テラス」の整備と活用、地元グルメの磨き上げ、ウォーキングコースの整備などのほか、粟ヶ岳の豊かな自然環境を活かしたハイキングガイドツアーを実施し、自然豊かな地域環境の魅力を伝えていきます。【3(1)①】
- ・ 市民にとって日常的な生活や田舎暮らし、地域文化や地元グルメを魅力ある体験として提供できる、自然体験施設・団体を増やし、掛川の地域文化を知っていただく機会を増やします。また、地域文化を気に入ってくれた方が、陶芸やアート作品の工房兼住居として地域へ移住し、仲間が増えていくことでアート村になっていくようなきっかけ作りを進めていきます。【1(4)④】
- ・ 倉真温泉をはじめ温泉施設と、文化・食・自然体験を絡めた周遊コースを設定し、新東名高速道路へのスマー



東山の草花フジタイゲキ



真砂館の温泉

トインター設置も見据えて、他分野への波及効果を図ります。【1(4)⑤】

●美しい自然を自転車で満喫できる環境の充実

具体的な取組2(1)⑤、6(2)③

- ・ 既存のサイクルイベントを拡充し、ガイドサイクリストによる紹介を交えながら地域資源の魅力を伝えていきます。【2(1)⑤】
- ・ サイクリストを対象に、地域の名物グルメ店やスイーツ店を廻る事ができるグルメコースを設定し、走るだけではない楽しさを提供する環境を整えます。【2(1)⑤】
- ・ 掛川駅など交通結節点や主要観光施設でのレンタサイクルの実施、「バイク・フレンドリー・ステーション」の設置、市内各所への安全な駐輪スペースの確保など、サイクリング環境を向上します。【6(2)③】



潮騒橋の上を走るサイクリスト

●桜を中心とした花の名所づくり

具体的な取組1(4)①、3(1)①、6(4)①

- ・ 桜の品種を地域によって変えることで、長期間にわたり桜のある風景を楽しめるように推進していきます。特に、粟ヶ岳や大浜公園などは、市民参加による桜の管理や老朽化した桜の植え替えなどを施し、今後も永続的に桜の名所としての存在を維持していきます。【1(4)①、3(1)①】
- ・ 花見に訪れる方をターゲットに、地元食材を使って開発した弁当と地酒を販売し、地域の食文化を知っていただくきっかけとなるよう進めます。【1(4)①】
- ・ ゆり、ハルリンドウ、紅葉や、そよかぜ広場のひまわり、三十川のコスモス街道、家代の花桃の里など季節に応じた花木は、遠方からの来訪者も多いため、観光地となるよう情報の受発信を進めます。【1(4)①】
- ・ 春の桜などを活かし、一年に何度訪れても楽しめるよう、季節などの時間の変化を意識した周遊コースを充実します。【6(4)①】



掛川桜



シオーネのひまわり

●農業を組み込んだ体験プログラムの充実

具体的な取組2(2)④、2(3)①

- ・ 掛川牛、石川小芋、いちじくなどの掛川の個性ある農畜産物や加工品、林産物や林業を地域資源として観光に繋げていきます。農産物であれば種蒔き～収穫までの体験・交流プログラムとして確立するなど農業と観光の結びつけを進めていきます。【2(3)①】
- ・ 茶摘みや湯飲みづくりから始まる喫茶体験など、食に関わるものづくりを手間暇かけて楽しむフードツーリズムを展開します。【2(3)①】
- ・ 農産物直売所の生産出荷者の確保と情報コミュニケーション力の活性化に努めます。また、直売所において調理・提供し、ここでしか食べられない地元グルメとして希少性を高めて、観光客を惹きつけます。【2(2)④、2(3)①】

5年後に目指したい姿

- ☆ 自然に癒され健康になれるまちとしてのイメージが広まっている
- ☆ 自然の中で楽しむレジャー、スポーツ、農業などの体験プログラムが充実している
- ☆ お花見スポットなど季節を意識した体験の場が充実している
- ☆ 自転車の周遊コースやイベントが充実し、受入れ環境が整っている

重点とする取組6 観光情報のコミュニケーション力の活性化

本市への誘客を促進するには、「掛川」の認知度を高めていくことが重要であり、ターゲットを見据え、地域資源を整理した上で、イメージのわく情報を発生させます。

また、従来の一方通行のプッシュ型ではなく双方向型の情報手段の普及により、魅力的な地域資源について SNS をはじめ様々な媒体によって拡散し、観光情報のコミュニケーション力を活性化していきます。

●市民に対し、地域資源について情報を発生させる仕掛けづくり

具体的な取組2(1)①、2(1)②、2(1)③、2(1)④、2(1)⑤など

- ・ものづくり企業、歴史文化、スポーツ、自然などを組み合わせた体験プログラムの充実により、市民が遊んでみたい、体験してみたいと思うテーマを設定し、積極的に情報を発生させる仕掛けを行います。【2(1)①、2(1)②、2(1)③、2(1)④、2(1)⑤など】



掛川城下でトランポリンイベント

●観光情報のコミュニケーションの土台となるホームページの改善

具体的な取組7(1)②

- ・市及び観光協会のホームページを、より見やすい、より探しやすい、より楽しいサイトとなるように随時改良・充実していきます。あわせて、スマートフォンに対応した総合観光案内サイトの立ち上げを図ります。【7(1)②】
- ・観光施設の開館日、飲食店の開店日、各地のイベントの開催内容など、その代表者や主催者が直接アップロードし、ホームページなどに一覧として自動的に掲載される仕組みを構築することを検討します。【7(1)②】
- ・地区まちづくり協議会や庁内各課など、各団体が作成している地域資源のマップやリーフレットについても、デジタルアーカイブ化など集約し、効果的に拡散する仕組みを構築します。【7(1)②】

●SNSによる観光情報のコミュニケーションの活性化

具体的な取組1(3)②、7(1)③、7(1)⑤

- ・公式のフェイスブックやインスタグラムについて、質の高い画像や動画を確保し、内容の充実に努め、他の人にも情報を伝えたいよう工夫します。【7(1)③】
- ・人気ブロガーや YouTuber、「輝くかけがわ応援大使」や「お茶大使」、子育てママ団体などの協力を得て、SNS によって国内外へ情報が拡散されるよう進めていきます。【1(3)②、7(1)③、7(1)⑤】
- ・市民や事業者を対象にした、SNS セミナーの実施などにより、一人ひとりの情報コミュニケーションスキルを向上し、住民目線での情報発信を活性化させます。【7(1)③】

●国際スポーツイベントを契機とした情報発信

具体的な取組5(1)①、5(1)③

- ・「ラグビーワールドカップ」や「東京オリンピック・パラリンピック」の開催を契機として、開催前までに海外の観光情報サイトや旅行雑誌などに、掛川の観光情報の掲載を積極的に働きかけていきます。【5(1)①、5(1)③】
- ・開催中は、海外から訪れた方に向けて、市民総ぐるみのおもてなしにより掛川の魅力を高めていきます。【5(1)①】
- ・市在住の外国人の協力を得て、SNSなどを活用して、母国の方を惹きつけるように集中的に情報が拡散していくよう取り組みます。【5(1)①】



ラグビーアイルランド戦(エコパ会場外)

●観光関連事業者との情報受発信

具体的な取組1(5)①、7(1)⑤、7(1)⑥、8(1)①

- ・主要な観光施設であるつま恋リゾート彩の郷、掛川花鳥園、加茂荘花鳥園、掛川城などと連携し、相互に情報交換するとともに、互いの強みを活かした誘客を促進します。【8(1)①】
- ・観光関連の事業者やその他の産業の事業者と連携できるよう、観光協会による調整、全体の連絡会議の開催などを行うとともに、それぞれの情報誌やウェブサイトには掛川の魅力を掲載するなど、市民総ぐるみの魅力向上を進めます。【8(1)①】
- ・旅行会社などに対する商品化に向けた体験プログラムの提案、メディアの方を招待するプレスツアーの企画、鉄道事業者との連携など、観光関連の事業者とともに地域資源の情報を受発信していきます。【1(5)①、8(1)①】
- ・掛川ゆかりの著名人やご当地キャラクターを活かした情報受発信、ドラマや映画のロケ誘致に取り組みます。【7(1)⑤、7(1)⑥】



掛川花鳥園



加茂荘花鳥園花菖蒲園

5年後に目指したい姿

- ☆「掛川」の知名度が高まっている
- ☆掛川の魅力を知っている人が増えている